

新着図書案内

2019年5月発行



『地域おこし協力隊 10年の挑戦』

都市地域から条件不利地域等に生活の拠点を移し、地域協力活動を行う「地域おこし協力隊」。特色ある17事例を関係者がリアルにレポートし、有識者がこの制度の効果や、地域のためにさらに高める方向性について解説する。

椎川 忍 // 編著 小田切 徳美 // 編著 佐藤 啓太郎 // 編著 地域活性化センター // 編著 移住 交流推進機構 // 編著 農山漁村文化協会



『ハリエット・タブマン 「モーゼ」と呼ばれた黒人女性』

黒人女性として初めて米ドル紙幣を飾ることが決まったハリエット・タブマン。“私は一度しか死ぬことができない”をモットーに、聖書のモーゼのように「地下鉄道」運動で奴隷逃亡を主導したタブマンの生涯を史実に忠実に描く。

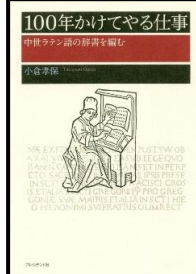
上杉 忍 // 著 新曜社



『カラス博士と学生たちのどうぶつ研究奮闘記』

農学部解剖学研究室の悲喜こもごも』カラスに逃げられ、ネズミに噛まれ、ダチョウの卵を温めて…。「カラス博士」と呼ばれる著者が、農学部解剖学研究室の裏側で繰り広げられるドラマと、20年あまりの教授生活で遭遇した味わい深いエピソードを描く。

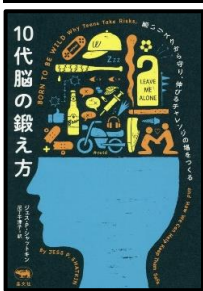
杉田 昭栄 // 著 緑書房



『100年かけてやる仕事 中世ラテン語の辞書を編む』

2013年にイギリスで100年以上の年月をかけて完成した「中世ラテン語辞書」。生きているうちに完成を見ない仕事に、時間と精力を注ぎ込んだ人たちの営みから、人間の「働く意味」を追う。

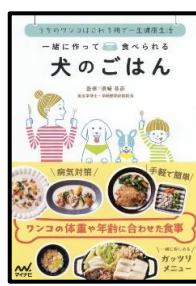
小倉 孝保 // 著 プレジデント社



『10代脳の鍛え方』

悪いリスクから守り、伸びるチャレンジの場をつくる』大人になる前の若者は、なぜ危険なものに惹かれ、向こう見ずな行為に走るのか。脳科学や生理学、発達心理学などの最新の知見から10代の脳と体、心、行動の仕組みを解き明かし、レジリエンスを高める有効な方法を説く。

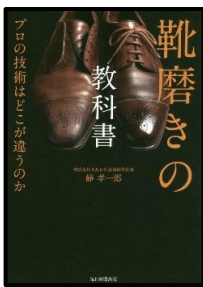
ジェス P.シャットキン // 著 尼丁 千津子 // 訳 晶文社



『一緒に作って食べられる犬のごはん うちのワンコはこれ1冊で一生健康生活』

毎日の献立に使える定番レシピから、不調の原因を取り除く病気予防レシピ、特別な日に楽しみたいイベントレシピまで、飼い主と犬と一緒に楽しめる絶品レシピを紹介。犬のための手作り食の基礎知識、健康チェックシートも掲載。

須崎 恭彦 // 監修 マイナビ出版

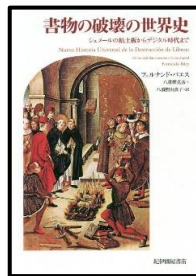


『靴磨きの教科書』

プロの技術はどこが違うのか』

靴磨きには、「正解」がある! 靴磨きのプロ中のプロがビジネスシューズから希少皮革、布靴まで、本当に正しい靴の手入れ術を写真とともに教える。道具の特徴や用途なども解説。本体は背表紙なし糸綴じ。

静 孝一郎 // 著 毎日新聞出版



『書物の破壊の世界史』

シュメールの粘土板からデジタル時代まで』

シュメールの昔から、アレクサンドリア図書館の栄枯盛衰、ナチスによるビブリオコースト、イラク戦争下の略奪行為、電子テロまで。膨大な量の文献や実地調査をもとに、世界各地の書物の破壊の歴史をたどる。

フェルナンド バエス // 著 八重樫 克彦 // 訳 八重樫 由貴子 // 訳 紀伊國屋書店

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。または出版社より許諾を得ています。



『海外名作映画と巡る世界の絶景』

「ハリー・ポッター」「ローマの休日」…。海外名作映画の中に登場する美しい絶景の数々を、映画のストーリーや実際に撮影されたシーンと共に紹介。Google MapsのQRコード付き。データ:2018年12月現在。

インプレス編集部 // 編 インプレス

『敗者の生命史38億年』

38億年に及ぶとされる悠久の生命の歴史の中で、最終的に生き残ったのは常に敗者の方だった。敗者たちはいかにして生き残り、そして新しい時代を切り拓いたのか。地球の歴史を振り返り、画期的な生き残り戦略を生物に学ぶ。

稲垣 栄洋 // 著 PHPエディターズ・グループ

『戦国古文書入門』

戦国大名の古文書を読みみたい人のための入門テキスト。武田信玄判物、織田信長黒印状、毛利元就契状、徳川家康書状、豊臣秀吉遺言状写など16人の文書を写真で紹介し、詳細な説明と釈文、読み下し文を収録する。

渡邊 大門 // 編 東京堂出版

『純血種という病』

商品化される犬とペット産業の暗い歴史』

多くの純血種の犬が遺伝性障害に苦しんでいる。私たちは、犬にいったい何をしてきたのか? 純血種の犬に関わる人間の俗物根性、消費主義に真正面から取り組み、デザイナードッグの問題や、愛犬趣味の歴史などについても記す。

マイケル ブランドー // 著 夏目 大 // 訳 白揚社

『脱走王と呼ばれた男』

第二次世界大戦中21回脱走した捕虜の半生』

脱走は将校の義務である。トンネル作戦、綱渡り、列車からの飛び降り、詐病…。第二次世界大戦中、仲間と共に、あるいは単独で脱走を繰り返し、不屈の精神力で目的を果たしたイギリス軍将校アレスター・クラムの半生を描く。

デイヴィッド M.ガス // 著 花田 知恵 // 訳 原書房

『気候変動の時代を生きる』

持続可能な未来へ導く教育フロンティア』

気候変動をテーマに教育に焦点をあてた本。気候変動問題に対して、日本に先行して実践を積み重ねている海外での取り組みを紹介し、持続可能な未来へと導くアクションを提示する。

永田 佳之 // 編著 山川出版社

『図書館巡礼』

「限りなき知の館」への招待』

古代エジプトのアレクサンドリア図書館から現代のフォルジャー・シェイクスピア図書館まで。古今の偉大な図書館の魅力を語り、文献の保守・保存・獲得に心血を注いだ「愛書家」たちのエピソードを活写する。

スチュアート ケルズ // 著 小松 佳代子 // 訳 早川書房

『35の名著でたどる科学史』

科学者はいかに世界を綴ったか』

ニュートン「プリンキピア」、ダーウィン「種の起原」…。科学の転換点である16世紀から、現代へつながる科学史において、重要な名著の内容と書かれた時代背景、刊行後どのような影響を与えたのかを解説する。

小山 慶太 // 著 丸善出版

『色彩の博物事典』

世界の歴史、文化、宗教、アートを色で読み解く』

長い人類の歴史の中で、「色」は宇宙の象徴であり、天上の霊界の表徴であった。色彩研究の第一人者が、歴史上、「色」と人間とが、どのようなかわりをもってきたかを文化史的な視点から考察する。

城 一夫 // 著 誠文堂新光社

『全国作家記念館ガイド』

全国258館』

日本全国の文学館及び個人の作家記念館258館を、文章とカラー写真で紹介。アクセス、館内の様子のほか、作家の代表作を掲載する。最新情報が得られるQRコード、生没年表、作家索引付き。

作家記念館研究会 // 編 山川出版社

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。

